

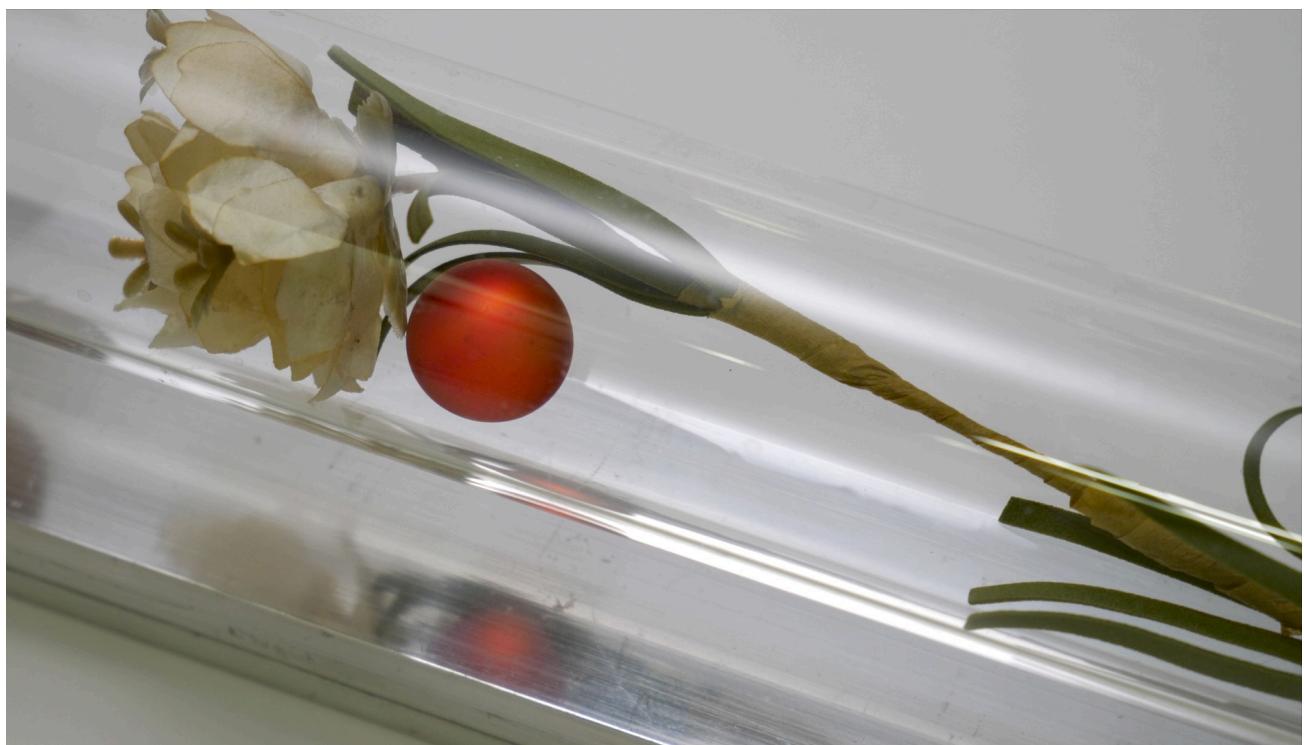
[プレスリリース]

2020/07/28

藤本由紀夫 オンラインショー

Yukio Fujimoto Sound Album

2020年8月1日(土) – 8月31日(月)



藤本由紀夫, revolution & gravity (artificial flower & glass ball) , 2018 (部分)

70年代、電子音の合成による大音響の作品制作を続けているうちに2つのことが気になるようになった。1つは、どれだけ波形を複雑に組み合わせても、どれも同じような音にしかならないこと。そしてもう1つは、大きな音は、最初に体験したときが一番面白く、2度、3度と聞くと、その音量に慣れてしまい、急速に刺激が薄れていくことであった。

このような不満から、80年代に入ってシンセサイザーを使うのをやめてしまった。すると、それまで気にも留めていなかった日常の音が面白く聞こえてきた。本のページをめくる音、コップをテーブルに置く音、服の擦れる音、自動販売機から飛び出るコインの音……それらの「何でもない」音はけっして人工的に波形を合成して作れるような単純なものではなく、非常に密度の濃い内容を持っていたのだ。そして、それらの音のほとんどは小さな音であるにもかかわらず、それぞれが個性を持ち、環境に対し生き生きと主張しているように聞こえた。

藤本由紀夫

初出：藤本由紀夫「音が創る音楽－サウンド・ミュージアム」（『生命誌』通巻11号, JT生命誌研究館, 1996年1月, 14-15頁）

藤本由紀夫は日常に潜む様々な「音」とそれを認識する過程で音の連続を「音楽」として組み替える我々の認知能力への気づきを起点に、早くも 80 年代初頭からレディメイドのオブジェ、空間、人との関係を捉え直し、「音を出す」行為から「音を聞く」行為へとその制作を転換させてきました。

『Yukio Fujimoto Sound Album』と題したシュウゴアーツオンラインショー第三弾は、1980 年から 2020 年まで 40 年間に及ぶアーティスト活動の足跡を一枚のアルバムにまとめ、藤本由紀夫の「音」の原点を探ります。SIDE A 「music boxes」では、藤本の空間や音の認識を変える契機となったオルゴールを用いた作品を中心に、今回シュウゴアーツにて撮り下ろした作品映像およびオルゴールの代表作のサウンドを映像とともににお楽しみ頂きます。SIDE B 「fragments 1980-2020」では、1980 年から 2020 年の間に VHS、8mm、Digital Video、iPhone と異なる撮影メディアによって作家自身が撮影し、今展を機にデジタル化した映像群を本人の編集により収録しました。一人ユニット「Normal Brain」として音楽活動をしていた 80 年代前半の貴重な映像作品や、美術館でのサイトスペシフィックなパフォーマンスなど、バラエティに富みアーカイブとしても重要な内容です。いずれも 8 月 1 日よりオンラインにてコンテンツをご覧頂けます。本展を貴媒体にて取り上げていただきご喧伝いただければ幸いです。

2020 年 7 月 シュウゴアーツ



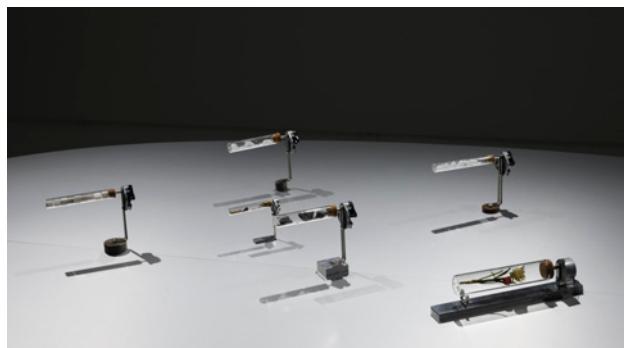
「YOU ARE BUSY, I AM EASY」 1980



「CALCULATOR MUSIC」 1986



「TARUPHON」 1988



revolution & gravity 「prelude」

展覧会概要

藤本由紀夫 オンラインショー

「Yukio Fujimoto Sound Album」

会期：2020年8月1日(土) – 8月31日(月)

会場：シュウゴアーツ ウェブサイト <http://shugoarts.com/news/17798/>

『Yukio Fujimoto Sound Album』プレイリスト

SIDE A : music boxes

- revolution & gravity
- 00. prelude
- 01. rock salt, 2019
- 02. solar salt, 2019
- 03. 9 marbles, 2019
- 04. rock sugar, 2019
- 05. moss & rock salt, 2019
- 06. artificial flower & glass ball, 2018
- 07. separation & conjunction (book end), 2019
- 08. STARS, 1990
- 09. The Music (Four-Panel Folding Screen), 2013

<http://shugoarts.com/exhibitions/music-boxes/>

SIDE B : fragments 1980-2020

- 01. GIRL, 1980
- 02. M-U-S-I-C, 1980
- 03. YOU ARE BUSY, I AM EASY, 1980
- 04. CALCULATOR MUSIC, 1986
- 05. TARUPHON, 1988
- 06. UNDR, 1992
- 07. NEWLYN ART GALLERY, 2002
- 08. MUSIC DUST BOX, 2008
- 09. BROOM(Coal), 2012
- 10. PET, 2015
- 11. on the circle otani, 2020

<http://shugoarts.com/exhibitions/fragments1980-2020/>

藤本由紀夫は1950年名古屋市生まれ、大阪市在住。「音」を「かたち」に捉えたサウンド・オブジェを中心に、人間の知覚を喚起する作品の数々を発表する。自身の作品を通して発見されうる外界の新たな認識手段を、鑑賞者それぞれの感覚へ委ねるという藤本作品に共通するその姿勢は、作品そのものから鑑賞者を巻き込んだ空間へと波及していく。

主な個展に「STARS」シュウゴアーツ(2017)、「The Tower of Time」アイコンギャラリー(バーミンガム、2009)、「+/-」国立国際美術館(大阪、2007)、「関係」和歌山県立近代美術館(2007)、「美術館の遠足 1/10 - 10/10」(1997-2006)など。近年では「キュレトリアル・スタディズ1 2 : 泉/Fountain 1917-2017, Case 2: He CHOSE it.」京都国立近代美術館(2017)、「DOMANI・明日展 PLUS × 日比谷図書文化館 Artists meet Books 本という樹、図書館という森」日比谷図書文化会館(2017)等においてキュレーションも行なう。